



2025朝倉邦夫杯杯併に第16回東海地区拳法グランド優勝大会（団体戦）が3月8日に静岡県浜松市で開催されました。接戦が展開され優勝決定戦は、大将の静岡浜松Bの金子聖矢選手と静岡浜松Aの加茂皓史郎選手の代表者戦無制限の戦いとなり決着がつかず判定となり2：1で金子聖矢選手が接戦を制し静岡浜松Bが優勝した。



優勝 静岡浜松B



詳細は、QRから



準優勝 静岡浜松A



第三位 愛知名古屋



優勝 静岡・浜松B

袴田晴太 袴田陽太 伊藤太心 長坂佑磨 倉田華光 長坂拓磨 根岸和希 永谷椎真 鈴木陽菜
伊藤樹咲 鈴木彩莉 長坂直樹 金子聖矢

準優勝 静岡・浜松A

高見明宏 大澤美月 鈴木健斗 筒井優 岡田寛太 大澤叶翔 阿部翔吾 土屋蒼大 柳本晟
前田帆乃花 柳本暹 加茂皓史郎 筒井健 鈴木喜也

第三位 愛知・名古屋

梶黎和 吉田拓真 竹内瑛太 椿優奈 水野凱斗 椿航大 刑部甫 伊吹陸 竹内理玖 加藤隼跳
柴山華子 刑部真保 吉田真由美 西村静流



拳法会の訓え 「袖触れ合うも他生の縁」と「不負魂（まけじ魂）」

袖触れ合うも他生の縁

拳法会では、「運は、縁にあり」どんな小さな事、ちょっとした人との交渉も偶然に起こるのではなく、すべて深い宿縁によって起こる



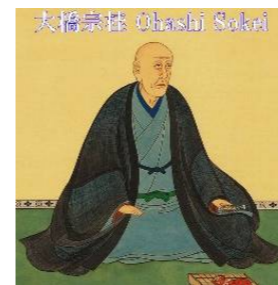
不負魂

拳法会の不負魂（まけじだまし）とは、己に負けまいとする克己の精神、挫けない！諦めない！愚の如く、魯の如く継続する魂。

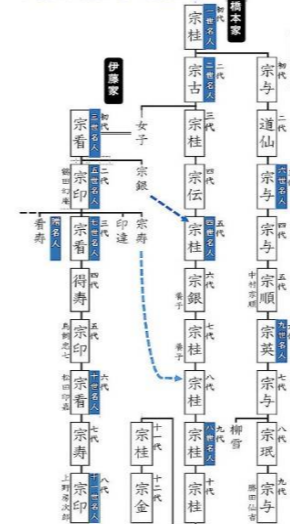


混迷する武道！武道ルネッサンス！

Budo in confusion ! Dan(Rank)
and Soke(Head of the family)



Ohashi Family



北辰一刀流の七代目宗家の椎名市衛先生は、今では、北辰一刀流の宗家を外国人が名乗っていると指摘した。

また、空手道の石津先生は、小学生が黒帯で初段が与えられている。また、自分で流派をつくり館長と称して段位を与え金儲けしていると嘆いた。

そもそも段位は、大橋宗桂（1555～1634）により約390年前に考案された。その段位システムは、古武道にも受け継がれ「目録」「指南免許」「印可」などと称号も与えられた。

柔道で云えば、講道館が初段、二段などの段位を与え大日本武徳会が錬士、教士、範士などの称号をあたえた。しかし、戦後、GHQ（連合軍最高司令官総司令部）により1946年に大日本武徳会は、解散させられ柔道は、講道館のみとなり称号は、消え、剣道は、禁止となった。後に復活した全日本剣道連盟は、称号を継承した。

空手の乱立は、もともと流派、会派などない存在で武士の営為になかったが1950年ごろから組織化を目指し各々が流派、会派を作り始めた。大山倍達(崔倍達チェ・ベダル)がフルコンタクト空手と称し組織を拡大したが現在は、分裂し多くの会派にわかれた。朝鮮のテコンドー（跆拳道）も組織化されオリンピックゲームとなり段位制度は、更に営業化した。

このような混迷の原因は、武道の総本山であった大日本武徳会がGHQにより解散させられ野放し状態の産物としか考えられない。



世界へ和を広げる拳法会

青少年健全育成

春の会員募集月間！ 声掛け運動にご協力ください！